

学年	高校2年	教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	5
教科書名	詳説 世界史B (山川出版)			副教材名	アカデミア世界史 (浜島書店)		
コース クラス	スポーツ・芸能 スポーツ／芸能			担当者名	土方 宏隆		

I. 目標

1. 歴史的思考力を培って多角的な視点を持ち、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 複数の資料から、歴史的な事象を読み取り、現代の社会的、国際的問題へのつながりを探求する。
3. 高校1年で学習した内容を踏まえて、基礎学力到達度テスト、大学入試共通テスト、模擬試験や他大学の入試問題にも対応できる実力を身につける。

II. 授業のねらい

1. 現代社会に起こる様々な出来事に歴史的背景があることを理解し、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
2. 日本を含む世界の歴史の複合性や関連性を理解し、歴史に対する理解を深めるとともに、学力向上を図り、希望の進路を実現させる。
3. 基礎学力到達度テスト、中堅私大（日東駒専レベル）に準じた問題演習を行い、対応できる学力を身につけさせる。

III. 授業の進め方

1. 図表などを使用しながら、その時々々の事例と現代とのつながりを確認する。
2. 教科書にそって授業を進めるが、スムーズな授業進行のため、プリントに基づいた学習形態も多用する。
3. 小テストや問題演習を適宜実施し、理解度の確認と知識の定着を図る。
4. 基礎学力到達度テストや昨今の入試傾向を踏まえて、文化史・テーマ史にも適宜触れる（課題等含む）。

IV. 学習上の留意点

1. 用語の暗記のみではなく、様々な事象を体系的に理解すること。
2. 板書の書き写しだけでなく、口頭での説明を細かくメモし、付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、ノートに貼って管理し、復習に努めること。

V. 定期試験

- | | | |
|-----|-------|----------------------------|
| 1学期 | 中間試験 | : 春秋・戦国時代 ～ 東アジア文化圏の形成 |
| 1学期 | 期末試験 | : イスラーム世界の形成 ～ 西ヨーロッパ世界の成立 |
| 2学期 | 中間試験 | : 東ヨーロッパ世界の成立 ～ モンゴルの大帝国 |
| 2学期 | 期末試験 | : 東アジア世界の動向 ～ ヨーロッパ世界の拡大 |
| 3学期 | 学年末試験 | : ルネサンス ～ ヨーロッパ諸国の海外進出 |

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物（課題）

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第2章 アジア・アメリカの古代文明 3 中国の古典文明（春秋・戦国時代～） 4 南北アメリカ文明	小テスト	①諸子百家について、それぞれの思想家の主張を理解する。 ②漢代、特に武帝の時代の政策について、知識の定着を図る。 ③殷～漢時代に東アジアの世界の骨格ができ、魏晋南北朝には他民族との交流によって新制度が形成されるなど、内陸・東アジアが発展した流れを理解する。 ④隋唐帝国が、名実ともに東アジア文化圏を形成したことを理解する。 ⑤イスラームの各王朝の成り立ちと特徴を確認し、ムスリム商人を中心に経済活動が活発化したことを理解する。 ⑥イスラーム社会の文化を、資料を活用して理解し、イスラーム社会が諸地域に拡大する中で、イスラーム文化がヨーロッパやアジアに影響を与えたことを理解する。 ⑦ゲルマン人移動後の西ヨーロッパにおいて、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。
	5	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成		
	6	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	小テスト	
	7	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立	期末試験	
一学期	9	2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容	小テスト	⑧ゲルマン人の国家やイスラーム世界が拡大する中で、ヨーロッパ世界が東西に分かれて形成される様子を理解する。 ⑨キリスト教に基づく中世社会の特色を理解し、経済や都市の発達に伴って西ヨーロッパ社会が拡大する流れを理解する。 ⑩宋から元の時代にかけて、貿易などの経済活動が盛んになり、14世紀のモンゴル帝国の衰退ともなって新たな帝国の形成につながることを理解する。 ⑪モンゴルの系図を確認し、支配領域の拡大範囲及びその経緯をしっかりと理解する。 ⑫17世紀のアジア地域における各国の特徴を理解する。 ⑬オスマン帝国の支配領域の拡大とその変遷及び、ヨーロッパ諸国との関係性（対立軸）を理解する。 ⑭大航海時代の代表的な人物を理解した上で、この時代から世界の一体化が始まったことを理解する。
	10	第6章 内陸アジア・東アジア世界の展開 1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国		
	11	第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	小テスト	
	12	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1 ヨーロッパ世界の拡大	期末試験	
二学期	1	2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	小テスト	⑮各国における宗教改革の動きを理解するとともに、宗教対立を超えた主権国家間の対立が起こっていることを理解する。 ⑯同時期に起こっているルネサンス・宗教改革・主権国家形成が、近代社会成立の準備をした出発点になっていることを理解する。 ⑰主権国家が国富増大のために行った政策を国ごとに理解し、その延長上に植民地拡大の動きがあったことを知る。また、欧米が拠点にした地域を資料で確認し、現代へのつながりを読み解く。
	2	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1 重商主義と啓蒙専制主義	小テスト	
	3	2 ヨーロッパ諸国の海外進出	学年末試験	

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。